

2011年度

科目名	文化財学研究指導及び演習(文化財構造論)			
担当教員	梯 信暁			
配当	文修1・文博1		コード	14017
開期	通年	講時	月曜日4限	単位数 4
授業テーマ	日本仏教史の研究			
目的と概要	日本仏教史の領域において、重要な先学の研究を取り上げて講読し、研究の方法を学びます。講読の目的は、思想史研究の方法習得にあります。あわせて社会の動向や時代の思潮を形成する文化的諸要素等との関連等を視野に入れて、総合的な研究をめざします。今年度は五来重著作集よりいくつかの論文を選んで講読します。また、各時間の一部を受講生の研究経過報告にあてます。			
成績評価法	授業中の発表50%・レポート50%			
テキスト	各自用意できるように指導します。			
参考書				
履修に当たっての注意・助言/準備学習	シラバスを確認して、あらかじめ関連資料を入手した上で講義に臨んでください。授業中に関連資料の提示を求めますので、資料紹介・内容の解説ができるよう、十分に準備しておいてください。			
講義計画				
<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション：講義の目標と内容の概説 2. 寺社縁起 3. 寺社縁起 4. 寺社縁起 5. 寺社縁起 6. 縁起絵巻 7. 縁起絵巻 8. 縁起絵巻 9. 縁起絵巻 10. 縁起絵巻 11. 縁起絵巻 12. 縁起絵巻 13. 仏教文学 14. 仏教文学 15. 仏教文学 16. 仏教文学 17. 仏教文学 18. 仏教文学 19. 仏教文学 20. 仏教文学 21. 伝承文化 22. 伝承文化 23. 伝承文化 24. 伝承文化 25. 伝承文化 26. 伝承文化 27. 伝承文化 28. 伝承文化 29. 伝承文化 30. 伝承文化 				